



富田和田山城



南に延びる尾根から主郭を望む

所在地：石川県河北郡津幡町富田

別 称：和田山堡、富田堡

立 地：丘陵頂部、標高80m

城 主：富田左近、佐々成政

時 期：戦国

見学時間（参考）：約40分

天田峠を越える北陸街道脇道の天田越が南麓を通る交通の要衝に位置する。北麓は津幡北バイパス工事により消失してしまったが、南麓の白山神社から尾根伝いに主郭まで行くことができる。能美市の和田山城と区別するため、本城を「富田和田山城」とする。



東から和田山を望む

故墟考が「賊将富田左近居たり。無伝」と伝えるのみで和田山城の歴史ははっきりとしないが、地元の古老によると佐々成政が居たと伝えられてきた。

城郭遺構は散在しているが、富田集落のある南側尾根に重点的に配置していることから天田越のあった南側を最も警戒していたことが推定できる。南麓の白山神社から尾根に登ると、東西に続く尾根を堀切や切岸で最初の防御ラインを設け、そこを越えて最初のピークから主郭に続く尾根の中程を堀切で遮断している。最高所の平坦部が主郭と考えられるが、主郭には城郭遺構とは性格の異なる大きな竖穴がある。虎口がはっきりしないので佐々成政はほぼ改修せずに使用したと推定されている。



南に延びる尾根を遮断する堀切



登城口の白山神社



主郭



主郭にある謎の凹み

いしかわ城郭カードに関する最新情報・お問い合わせ
北陸城郭プロジェクト（フリー・スタイル有限会社）
〒929-0335 石川県河北郡津幡町井上の荘3-9
TEL. 076-204-6046 FAX. 076-289-3943
E-MAIL. contact@j-sampo.com
ホームページ城郭さんぽ <https://www.j-sampo.com/>